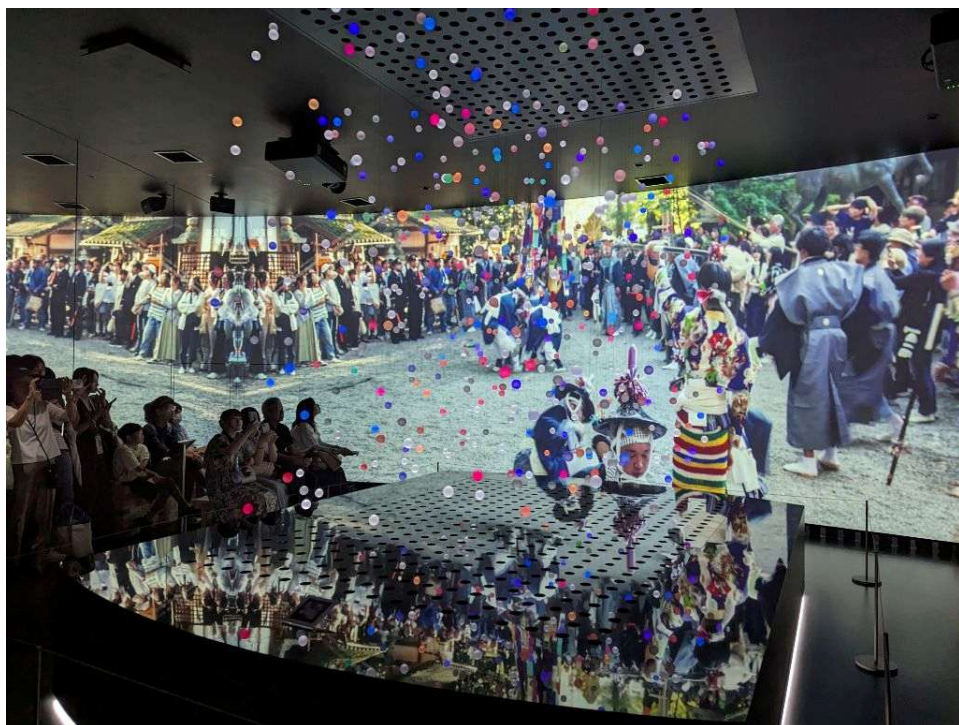
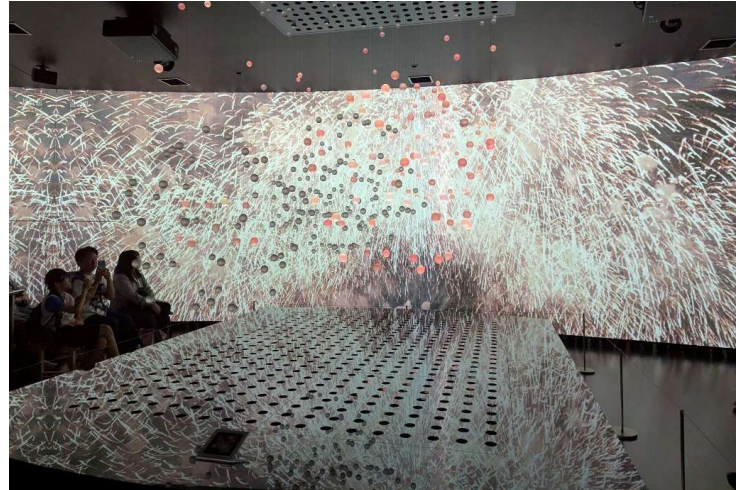


## 2.2 府県ゾーン展示概要（滋賀県）

■テーマ：Mother Lake ～びわ湖とともに 脈々と～

びわ湖とともにある滋賀県の自然・暮らし・時間の移ろいを映像と光で体感する演出を実施しました。万博会場から水の流れを遡ってびわ湖へと導くエントランスを抜け、メインショーではびわ湖を中心とした滋賀各地の美しい風景と人々のいとなみ、そして様々に変化する四季のびわ湖の姿を、高画質映像と色を変えながら動く球体による空間アートで表現しました。ブースの製作に当たってはモノづくり県である滋賀県内の企業の技術を随所に用いて紹介しました。



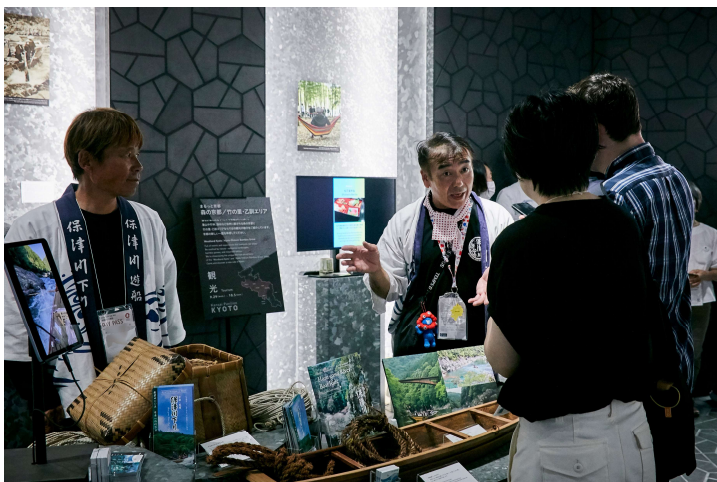
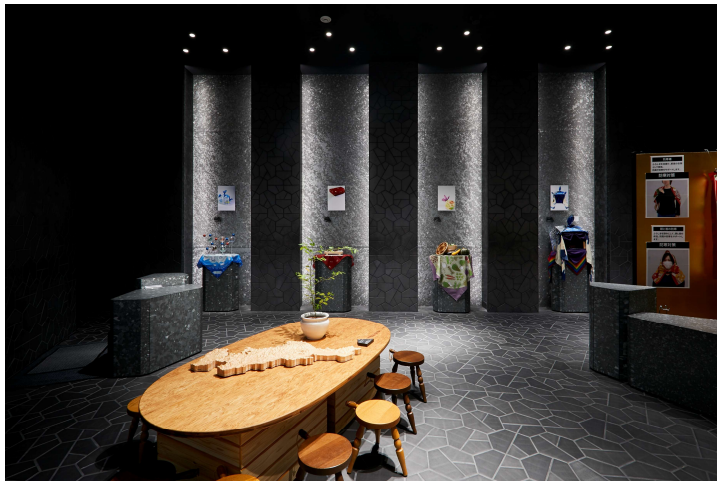
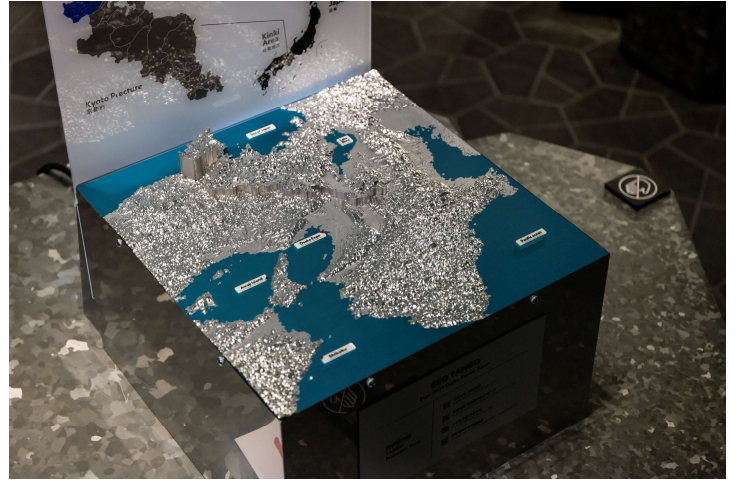


## 2.2 府県ゾーン展示概要（京都府）

### ■テーマ：ICHI-ZA KYOTO 一座きょうと

「ICHI-ZA KYOTO 一座きょうと」と名付けられたこのゾーンは、茶の湯における「一座建立」の精神をテーマに据え、来場者と交流し、一体感を与える場を目指しました。空間デザインは彫刻家・名和晃平氏が率いるSandwichが行い、床面や壁面を京瓦タイル「キモノタイル」で統一し、静謐な空間を構成しました。概ね1週間ごとに展示を入れ替えながら、文化・食・産業・環境・いのち・観光の6つの分野を24テーマに細分化し、延べ111の企業・団体が多様な京都の魅力を発信しました。



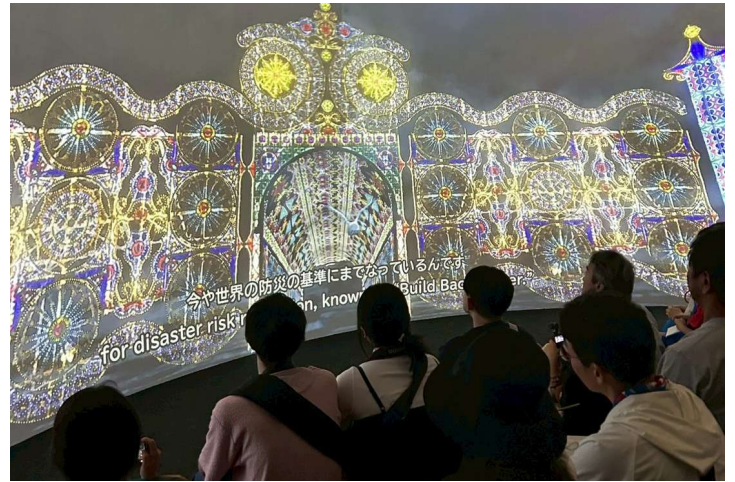
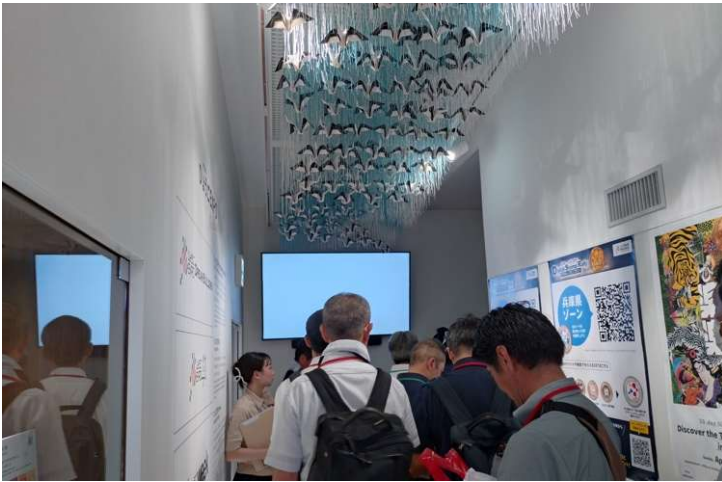


## 2.2 府県ゾーン展示概要（兵庫県）

### ■テーマ：HYOGOミライバスー体験型SDGs空間ー

エントランスでは、子どもたちが制作した県鳥コウノトリの折り紙が来館者を迎えたほか、県内拠点とリアルタイムの映像で繋がる「ひょうごコネクトゲート」を設置しました。続くコリドーには、兵庫の芸術家達の手によるステンドグラスを設えるなど、県民参加型の装飾を随所に配置しました。シアター形式のメインホール「HYOGO ミライバス」は、時空を超える旅で兵庫の魅力を体感するアトラクション型映像空間です。日本書紀の国生み神話から始まり、震災からの創造的復興など、兵庫が続けてきたこと、乗り越えてきたことを、ひょうごフィールドパビリオンを題材とする幻想的な映像で描きました。





## 2.2 府県ゾーン展示概要（和歌山県）

### ■テーマ：和歌山百景 ー 霊性の大地 ー

「和歌山百景 ー 霊性の大地 ー」と題し、神話の時代から「寛容の精神」で全てを受け入れ、融合・共存してきた和歌山の精神から育まれた多様な魅力を和歌山の伝統技術や素材を盛り込んだ空間で表現しました。紀州塗りの技術が光る、紀伊山地の巨木を彷彿させる映像タワー「トーテム」には美しい自然風景や歴史などを映し出しました。また、中央ステージでは、和歌山で生きる人々が紡いできた歴史・文化・産業を、期間ごとにパフォーマンスや展示で発信するとともに、紀州材でできたカウンターバーでは、和歌山の森を感じる特別な食体験も行われました。



